

ORD講演会レポート	1~2
ORDセミナーレポート(3回シリーズ)	2~3
技術促進委員会「一泊研修」レポート	4~6
技術促進委員会「研修」レポート	7
製品開発委員会例会レポート	8~9
製品開発委員会例会レポート	10
事務局だより	11~12

編集：企画広報部会 事務局：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1丁目10番25号(奥野製薬工業(株)内)
TEL 06-6961-7866 FAX 06-6961-7878 URL <https://ord-osaka.org>

ORD講演会レポート 日本の危機を考える

- 日 時：2021(令和3)年11月9日(水) 15:00~16:45
- 場 所：エル・おおさか709号室(大阪府立労働センター7階)
- 演 題：銀座の流儀 -おもてなし力、人材育成、一流の男性について-
- 講 師：銀座「クラブ稲葉」オーナーママ 白坂亜紀 先生



11月9日、銀座「クラブ稲葉」のオーナーママ、白坂亜紀先生をお迎えして、「銀座の流儀～おもてなし力、人材育成、一流の男性について～」と言うテーマで、エル大阪(大阪府立労働センター)にてご講演頂きました。

当日は、あいにくの天気にも関わらず、和服でのご講演で、おもてなしに対する気概を感じました。

- ・おもてなしの基本は、コミュニケーション能力、笑顔と立ち振る舞いの美しさ
- ・銀座のホステスは、365日24時間戦える気力と体力



見栄えの華やかな世界からは、想像も出来ないくらい精神力のタフさが要求される世界で有りながら、普通の人々が、日常生活において忘れかけている当たり前の事柄を大切にしつつ、変化を恐れずに、常に新しい事に挑戦し続ける世界。

正直に生き、他人の悪口を言わない、お客様の本質を見抜いた付き合い方や営業力を高める発想の転換、考え方の切り口を再度教えて頂いた。



しかし、本来はどれもこれも人として当たり前の事として、ひと昔の日本人として出来ていた事でした。多忙にかまけて、忘れていたことを思い出させて頂き、一人の人間としての本質を見抜かれているような講演会で、自分の原点を思い出させて頂き、心が洗われた講演会になりました。有難うございました。



ORD ニュースでは、臨場感は伝わりませんし、心の受け取り方も様々です。是非とも次回以降の講演会・セミナーにご参加頂きご自分で心体験して頂きます様お願い申し上げます。

白坂先生には、懇親会にもご参加頂き、有意義な時間を共有して頂きました。又、新型コロナウイルス

感染症の影響により、開催も危ぶまれましたが、白坂先生や、関係者の皆様のお力添えにより無事開催が出来ました。皆様にはこの紙面をお借りして、熱くお礼申し上げます。

松浦 勲(記)／企画広報部会長



ORDセミナーレポート(3回シリーズ) デザイン経営に必要な2つのデザイン思考

- 日 時：2021(令和3)年 10月5日(火)、10月20日(水)、11月8日(月)15:00～16:45
- 場 所：奥野製薬工業(株)本社 4F 会議室：大阪市中央区道修町 4-7-10
- 講 師：株式会社ハーズ実験デザイン研究所 村田 智明 先生



今回、3回シリーズのセミナーとして、奥野製薬工業本社4階会議室にハーズ実験デザイン研究所 村田 智明先生をお迎えし、「デザイン経営に必要な2つのデザイン思考」と題して、新型コロナ感染防止対策を実施した上で開催致しました。

テーマと致しましては、

- 10月5日を第1回目として、【時間をデザインするという概念がソリューションを生み出す】

～イノベーションを誘発する「行為のデザイン思考」～

- 10月20日の第2回目は、【感性、それは人によってはゼロにも100にもなる因子】

～ユーザーの共通点を組み込む「感性ポテンシャル思考」～

- 11月8日の第3回目は、【実際に「デザイン思考」を導入したら、どう変わるのか?】

～「デザイン経営」を考えるケーススタディと公開相談会～





3日間のセミナーを通して、デザインが売りに大きく影響する可能性を秘めていることや、問題の本質を見抜く考え方や、マーケティング戦略を踏まえた思考を学習させて頂きました。

具体的には、海水を飲料水に変える機械なのですが、当初の形は、どう見ても「プラントであり、大規模設備を想像させるものでしたが、村田先生のデザインは少し大きめの空気清浄機の様で、そしてその装置は、1人で移動可能な簡易型でもあり、離島でも、海上でも水を作る事が出来るので、水の輸送を必要としない画期的な装置に生まれ変わりました。」



まさしく、デザイン思考で、従来の発想では考えられない用途が広がり、販路が拡大しその会社は、上場準備中。デザインが営業マン以上の働きと、購入者側に大きなアイデアを与えたものでした。

最終日には、2例の企業課題の方向性を示して頂き盛況裏に終了いたしました。

今回は、セミナーだけでしたが、本筋の問題解決のヒントはワークショップにあります。

ORDの主旨である会員企業の皆様に、事業のお役に立てる村田先生の企画を継続して参りますので、是非ともORD会員の皆様にはご参加を含め、今後とも多大なるご支援を宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症の影響によりセミナーの開催を含め、関係者の皆様方には、多大なるご支援とご協力を賜り誠に有難うございました。この紙面を持ちましてお礼申し上げます。

松浦 勲(記)／企画広報部会長



技術促進委員会「一泊研修」レポート

- 日 時：2021(令和3)年11月12日(金)～13日(土)
- 場 所：(有)戸田商工、いの町紙の博物館、龍馬のうまれたまち記念館、海洋堂スペースファクトリーなんこく、龍河洞



戸田商行

今年はコロナ禍の制限もあり8名の一泊研修となりました。例年通り大阪駅前よりバスにて出発し目的地である高知県に一路向かいました。初日は(有)戸田商工、いの町紙の博物館を見学し、高知市内にて一泊しました。2日目は龍馬のうまれたまち記念館、海洋堂スペースファクトリーなんこく、龍河洞を見学した後、帰阪いたしました。

皆さん「木毛(もくめん)」をご存じでしょうか?現在でも一部の高級果物(メロン、桃等)や陶磁器

には、緩衝材として木材を細かく削ったものが使われています。戸田商工様は現在木毛専門メーカーとして国内唯一の会社です。木毛は明治天皇に献上する果物に使用されたのが始まりとされ、ピーク時には60社ほどの木毛専門メーカーがあったようですが、石油系緩衝材の台頭により需要は減少してきました。主な木毛の材料として次のようなものがあります。①赤松：においもなく柔らかいので緩衝材としてBest。②楠、檜：消臭、防虫効果があるが、



戸田商行



いの町紙の博物館

においがつく用途に限られる。③杉：赤松に続く汎用性がある。それぞれに特徴がありますので、用途に応じて使い分けているとのこと。当日は、倉庫にある丸太の裁断から製品ができるまでを戸田社長様から説明をして頂きました。SDGs や地元へ貢献することを意識しながら経営をされているのが、伝わってくるような内容で非常に感銘を受けました。

次にいの町紙の博物館に向かいました。伊野町は仁淀川沿いの製紙工場が集積している町で、博物館にて和紙の起源および製造方法、土佐和紙の歴史を勉強しました。その後、皆で紙漉きに挑戦しました。出来上がったものは、丁度はがきサイズのもので8枚、良いお土産になりました。

その後、高知市内の宿泊施設にて温泉を堪能した後、魚介類の豊富な土佐料理に舌鼓を打ちました。



翌日は最初に高知市立龍馬の生まれたまち記念館に足を運びました。桂浜の近くに県立坂本龍馬記念館がありますが、こちらは書簡等の歴史的文書の展示を中心としているのに対し、我々の訪問した高知市立龍馬の生まれたまち記念館は、幕末当時の



龍馬の生まれたまち記念館

歴史や生活を紹介しつつ坂本龍馬の生涯をたどる形になっています。当日はボランティアガイドさんに案内をしていただきました。ボランティア観光ガイドの河



スペースファクトリーなんこく

村哲男さんの説明を聞いていると、より深く理解できます。また、現在も新たな書簡等が発見されているため、龍馬に関する知識に関してもアップデートされました。

次に向かったのは、海洋堂スペースファクトリーなんこくです。皆さんご存じの通り海洋堂というのは食玩等のフィギュアで最大大手の製作会社で、本社は大阪府門真市ですが、創業者が高知県出身であることから高知県には海洋堂スペースファクトリーなんこく以外にも海洋堂ホビー館四万十があります。訪れましたスペースファクトリーなんこくはソフビフィギュアの生産工場でもありますので、ソフビフィギュアの金型から射出される工程から彩色工程までを見学しました。生産ロットが少ないこともあり、ほとんど全工程を職人さんが手を使って製作していました。また、近年の東南アジアの件費高騰等の問題もあり、国内生産に回帰しているところもあるようでした。見学後、皆でジオラマのワークショップを体験しました。これは数種類のフィギュア（人とは限らない）から一つを選び、これに砂、木、石等の部品を組み合わせ、彩色を行いジオラマを製作するというもので、皆さん小中学生に戻ったような気分で一喜一憂しながら楽しんで製作いたしました。

昼食後、国指定史蹟天然記念物である龍河洞に行きました。スーツに革靴の格好だったため、一般的

の観光コース（別に冒険コースもある）の散策で十分冒険気分を味わい堪能できました。

龍河洞を14:30頃に出発したのですが、緊急事態宣言明けでレジャー客が多いのかサンデードライバーが多いからなのか、明石大橋を渡ったあたりから到る所で事故渋滞が発生しており、大阪駅にて解



龍河洞

散したのが20:30頃になりました。参加された皆さま、お疲れ様でした。

最後に、お忙しい中、ご対応していただきました（有）戸田商工取締役社長戸田実知子様やボランティア観光ガイドの河村哲男様をはじめ、ご対応していただきました皆様へ感謝いたしますと共に、ますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

伊場田 晶（記）/ 旭テック（株）

技術促進委員会「研修」レポート

- 日 時：2021(令和3)年12月10日(金)
- 場 所：竹中大工道具館、神戸海洋博物館、忘年会

今年最後の例会は、寒空の中、神戸市内にて2つの施設を見学し、忘年会で締めくくりました。秋口よりコロナ感染者数も減少し、ひと段落と思っていたところに新種のオミクロン株が出回りだしたこともあり、今回は少人数の10名にて企業の工場見学会ではなく、一般施設の見学会となりました。



竹中大工道具館は、日本で唯一の大工道具博物館として1984年に竹中工務店のゆかりの地である神戸にて開館し、大工道具を民族遺産として収集・保存されてきました。大工道具は、職人の消耗品であるため、現存しているものがなかなかありません。しかしながら、その形状には、職人の知恵が凝縮されており、見る人によってはそこに日本人の美意識を感じるでしょう。

博物館自身、純和風建築で閑静なたたずまいをしています。日本建築で平屋にこだわったのか、施設は1F、B1F、B2Fからなります。外壁は漆喰仕上げ、天井は国産杉の船底天井、内壁も聚楽土を混ぜた漆喰、屋根は淡路の敷瓦等、随所に工務店ならではのこだわりを感じさせます。大工道具の魅力を伝えるため、①歴史や種類、仕組みを理解する「歴史の旅」「道具と手仕事」「世界をめぐる」、②道具や手仕事の美を感じる「名工の輝き」「和の伝統美」、③ものづくりの心を棟梁の仕事を通して伝える「棟梁に学ぶ」、④貴重な森の恵みを生かす伝統の知恵を見る「木を生かす」からなります。また、個人的に圧巻だったのは、茶室のスケルトン模型で、歴史小説に出てくる茶室の構造が良くわかりました。大工道具に限らず道具そのものが好きな人にとっては、天国のような場所です。見学時間を1時間半とっていたのですが、時間が足りない方もおられたようです。

とはいえ、次の見学施設もありますので、10名にて次の見学施設まで、市営バスにて移動しました。

次の見学会場は、2020年2月5日にリニューアルオープンしました神戸海洋博物館/カワサキワールドです。神戸海洋博物館は、①神戸港の歴史、②船や港の仕組み、③船艇の展示等が展示されています。帆船から現在の船舶の模型展示、操船シミュレーター等もあり、子供に戻ったような時間を過ごすことができました。

隣接していますカワサキワールドは、いうまでもなく神戸の地で生まれた川崎重工グループの企業博物館です。最初、創業者：川崎正蔵、初代社長：松方幸次郎についての紹介パネルに始まり、川崎重工グループの歴史を勉強します。その後は、陸・海・空のゾーンごとに分かれて、実物に触れることができます（海の船舶は縮小模型）。こちらでも知っているようで知らないことを勉強しながら、皆さん楽しんでおられました。



無事見学会が終わり、神戸南京町にて忘年会を執り行いました。今回の例会はコロナ禍もあり、中華料理といえども大皿ではなく個別に取り分けたものを出していただきました。こんなところにもコロナ禍の影響があるとしみじみ思いました。

最後に、お忙しい中、ご対応していただきましたスタッフの皆様には感謝いたしますと共に、ますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

伊場田 晶(記) / 旭テック(株)

製品開発委員会例会レポート(R1)

2021年度第4回例会・日帰り研修

- 日 時：2021(令和3)年11月30日(水)
- 日帰り研修：(株)三社電機製作所・岡山工場(半導体製造拠点)
所在地：岡山県勝田郡奈義町柿1741
- 集合場所：梅田ハービスエント北側(旧大阪中央郵便局跡地前)
- 集合時間：8時30分、(専用バス運行)
- 懇親会：梅田マルビル

製品開発委員会の最大イベント“日帰り研修”は9月実施が恒例であるが、今年は新型コロナウイルスによる第5波の大波が7月頃から高まり始めたため、9月に計画されていた三社電機製作所・岡山工場様を訪問する予定は、緊急事態宣言の延長もあり、視界不良に陥った。

11月30日に日帰り研修を決行

11月に入ってようやくコロナ感染者が減ってきたので、岡山工場近辺は積雪地帯なので冬に入って寒くなる前にと、慌ただしく日帰り研修を11月30日に実施することに決まった。

今回の訪問実現には製品開発委員会の鈴木委員が、三社電機製作所の執行役員でもある事で、計画進捗に大いに貢献して頂いた。

三社電機製作所の本社(研究所を含む)は大阪の東淀川区にあり、工場は岡山県(パワー半導体)以外に滋賀県(電源機器)や海外にも展開しており、かつて滋賀工場を見学したことがある。

岡山工場訪問と当日の集合時間

岡山工場は三社電機製作所の半導体製造拠点で、岡山県勝田郡奈義町にある。三社電気の鈴木執行役員以外のORD製品開発委員は誰も知らない遠隔地である。奈義町は岡山県の北東部の鳥取県との県境にある勝田郡に位置し、工場の北部には町名の由来となった標高1255メートルの那岐山が聳えている。那岐山は中国山地の南端にあり、少し北に行くと鳥取県になり、その先は日本海に至る。岡山工場への所要時間は、梅田から専用バスを使って直行で約2時間半の遠隔地である。北梅田の集合時間は、計画

段階では朝の7時台とか驚異的声がかかったが、最終的には8時30分に決まった。ORDの製品開発委員会の皆さんは勤勉な方々が多く、当日は早朝8時半には全員が揃い、8時45分にバスは出発できた。

中国自動車道の旅

バスは阪神高速道路を経由し中国池田ICから中国自動車道に合流して後はひたすら西へ走った。2時間強の時間はすることも無く、朝が早かったのでゆっくり一眠りしてと思っていたが、ただ一人西村会長がゴソゴソとバスの中で忙しそうにしている。やおら「菊池さんこの本を貰って」と一冊の本を渡された。書名は“人生は恥の数だけ味がある”で著者は西村会長で、ご自身の人生回想録であった。実は西村会長のご父君は過去にご自身の回想録を出版していたとの事。それを息子が見習ったのです。西村会長は自著を全員に配っておられた。出発から1時間半以上経過した頃、ようやく小さなパーキングエリアでトイレ休憩を取った。小さなPAで看板も無かったが、聞いて



写真1：(株)三社電機製作所・岡山工場の正面玄関。
写っている4人は製品開発委員会メンバー。



写真2：頭本（ずもと）常務執行役員、半導体製造本部長から会社と製品の説明を受けた。

みると揖保川PAだった。揖保川なら兵庫県の名所ではないか。揖保乃糸手延べ素麺は有名で旨い。

この辺ならアマゴなどの溪流魚が釣れるのではないか。揖保川PAから程なく美作ICに到着して、我々の長い中国自動車道の旅は終わった。

三社電機製作所へは午後1時に訪れる約束なので、美作の道の駅の和食店で昼食をとり、ゆっくりと休憩を取ってから、丁度午後1時に岡山工場に到着した。岡山工場の敷地面積は50,000m²と広く、正面玄関は写真1に示すように洒落て清潔な工場である

会社の概要 2021年3月末現在

創業：1933年 資本金：2,774百万円

連結従業員数：1,381人

連結売上高：19,436百万円

本社：大阪市東淀川区西淡路3-1-56

工場・研究所：大阪、滋賀、岡山

支店・営業所：東京支店、中部営業所、九州営業所、北陸事業所

海外拠点：中国広東省、シンガポール
北アメリカ、

支店：韓国ソウル、フィンランド、台湾
ヘルシンキ、香港、etc

三社電機製作所の事業は、半導体事業と電源機器事業に大きく分けられる。岡山工場はその内パワー半導体事業を担っている。写真3にその製品の一部を示す。前列はシリコン基板で左から右に3インチ、4インチ、5インチの基板サイズである。もちろん他に多くの基板サイズがあり、回路巾も色々ある。どこまでの微細回路を作っているかは、各社とも極秘中の極秘。半導体として加工されたシリコンウエハーはそのままでは商品にならない。商品として扱いやすくするため、特定の目的にパッケージされた写真上段のモジュール類となる。カタログには、パワーモジュール、高速ダイオード、トライアック、サイリスタ等々多くの製



写真3. 展示室に展示されているシリコン基板や半導体モジュール

品があるので、それを参考にして頂きたい。我々ORD製品開発委員会のメンバーに同業者がいなかったので、幸運にも機密性の極めて高い、基板形成の工程まで見せて貰えたが、クリーン度維持の外装衣の厳しさには参った。しかし滅多に得られない経験が出来たのは良かった。

日帰り研修会を終えて

2021年度の日帰り研修会は紆余曲折を得てようやく実現でき、大きな成果を得られた。その上に製品開発委員会の鈴木三社電機執行役員の御助力もあったお陰で、滅多に見られない生産現場を贅沢に経験できた。参加者には奥野ORD代表幹事と技術促進委員会の伊場田委員長が参加くださり、賑やかに行われた。

菊池 清(記)／セン特殊光源(株)

製品開発委員会例会レポート(RO)

2021年度第5回例会

- 日 時：2021（令和3）年12月15日（水）
- 場 所：「木曽路」北新地店 大阪市北区曽根崎新地1-3-26 ぐらん・ぱれ2～3F
- 例 会：16:00～17:00 ①日帰り研修反省会：（株）三社電機製作所 岡山工場（岡山県奈義町）
②2021年度行動報告及び2022年度基本方針について意見交換
- 懇 親 会：17:00～19:00（忘年会）同会場でしゃぶしゃぶ他飲み放題付コース
- 会 費：特別会費徴収 5,000円/人



写真1. 2021年最後の製品開発委の例会。

製品開発委員会の2021年度製品開発委員会第5回例会が12月15日に開催された。場所は久しぶりに北新地に出向いて、「木曽路」が選ばれた。会議は午後4時から開始され、議題のトップは、11月30日に訪れたばかりの（株）三社電機製作所 岡山工場様の訪問報告とその感想を自由討議した。訪問してからまだ半月も経っていないので、多くの感想と意見が交わされた。

三社電機様の訪問内容は“製品開発例会レポート、2021年度第4回例会・日帰り研修”が発行されているので、そちらも参照されたい。

議題②は2021年度通年の結果報告及び2022年度基本方針について意見交換を交わし、次いで、③その他（参加企業情報、トピックス等）について意



写真2. 例会の会議室

見交換。

時間は1時間しか見ていないので、17:00には懇親会（忘年会）に予定通り移った。会場は同じ木曽路で、部屋だけを移動した。会議室の方は椅子席であったが、宴会室の方は掘りごたつ形式であった。宴会の席には絵の額縁があったが、木曽路は中々広い。例会後の懇親会は、コロナ禍のお陰で、これまで肩身の狭い思いをさせられてきたが、最近はコロナ感染者もかなり減ってきたこともあり、久しぶりの忘年会でもあるので、今日は肉のしゃぶしゃぶの本格メニューになった。企業活動の方も三社電機製作所様のように元気な活気のある会社を見習って、2022年を迎えようとエールを交わして、第5回例会を終わった。

菊池 清(記)／セン特殊光源(株)



写真3. 忘年会は部屋を替えて、大きな額がある方が忘年会々場



写真4. 2021年の製品開発委員会の忘年会。久しぶりに肉のしゃぶしゃぶにあり付け皆さんご満足。

事務局だより

2022年度のORD全体行事の予定が下記の通り決まりました。中でもORD総会は2年連続で書面審議とさせていただきますが、次回こそは対面形式での開催が実現でき、皆様のお顔を拝見できることを楽しみにしております。

2022年度行事予定

(1)ORD全体行事

6月までの見学会・講演会の開催予定です。開催の1か月前を目安にホームページからお申込みいただけるように致します。新着情報からお申込みページへリンクを張りますので、時々ホームページをチェックしていただきますようお願い申し上げます。

行事名	開催日	会場	内容
ORD総会	6月29日(水)	大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)	ORD総会：13：30～16：45 〔総会〕 13：30～14：30 〔基調講演〕 15：00～16：45 愛知淑徳大学 教授 真田幸光先生 懇親会：17：00～18：30
見学会	5月20日(金)	株式会社アテックス 奈良事業所	見学会：14：30～16：30 車載・産業・民生用インサート成形プラスチック複合 製品の製造・開発メーカー 懇親会：17：00～18：30
講演会	4月19日(火)	ATCグリーンエコプラザ	第1部：13：00～15：00 講演会① 奥野製薬工業株式会社のSDGsへの取組み 見学会 グリーンエコプラザスタッフによるガイドツアー 第2部：15：15～16：45 講演会② 環境問題と健康を考える 上方落語協会顧問 環境省3R推進マイスター 桂文喬師匠 懇親会：17：00～18：30
講演会	6月3日(金)	奥野製薬工業(株) 本社	講演会：15：00～17：00 新型コロナウイルスの感染症対策と今後の医療動向 日本生命病院 名誉院長 笠山宗正先生 懇親会：17：00～18：30
<p>6月以降の講演会・セミナーにつきましては、現在企画検討中です。決まり次第ホームページに掲載いたしますので、それぞれのお申込みフォームからお申込み下さい。</p> <p>※今後の新型コロナ感染拡大状況により内容の変更および中止とさせていただきますがご迷惑です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急事態宣言：全ての行事を中止します。 2. まん延防止等重点措置：見学会・講演会・セミナー等は人数を制限して実施します。懇親会は全て中止します。 			

(2)各委員会活動予定

1. 製品開発委員会

開催日	会場	内容
4月13日(水)	奥野製薬工業(株) 本社	総会・例会：14：00～15：30（第1回） ①新年度役員改選について ②2021年度活動及び決算報告 ③2022年度活動方針・活動計画・予算審議・承認 講演会：15：30～16：45 懇親会：17：00～19：00
7月13日(水)	奥野製薬工業(株) 本社	懇話会：15：00～16：45（第2回） （株）西村機械製作所 取締役会長 西村卓朗様 懇親会：17：00～19：00
9月14日(水)	日帰り研修	見学会：高丸工業(株)（第3回） 産業用ロボットシステム総合メーカー 懇親会
10月12日(水)	未定	例会：詳細内容調整中（第4回） 懇親会
12月13日(火)	奥野製薬工業(株) 本社	例会：14：30～15：30（第5回） 講演会：15：30～16：45 忘年会：17：00～19：00
2月15日(水)	奥野製薬工業(株) 本社	例会：15：00～17：00（第6回） 懇親会：17：00～19：00

2. 技術促進委員会 2022年度テーマ「伝統技術の承継」

開催日	会場	内容
6月17日(金)	京都府綾部市方面	見学会：黒谷和紙会館、グンゼ記念館、日吉ダム
10月21日(金) ～22日(土)	愛媛県松山市方面	一泊研修：（株）井関松山製造所 別子銅山
12月9日(金)	姫路市内	見学会：ペレテリア（皮革産業関連展示、体験）
2月10日(金)	大阪市内	見学会：旧小西家住宅史料館 会議：次年度活動計画策定（奥野製薬工業(株)本社）

【各行事へのご参加に際してのお願い】

- ・会場において新型コロナ感染防止対策に万全を期しておりますので、ご参加の皆様におかれましては、ご自身の体調管理とマスク着用をお願い申し上げます。
- ・ご参加当日、発熱症状や倦怠感等がございましたらご来場をお控えください。

※今後の新型コロナ感染拡大状況により内容の変更および中止とさせていただく場合がございます。